

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 6 部門第 3 区分
【発行日】平成 17 年 6 月 30 日 (2005.6.30)

【公開番号】特開 2002-202952(P2002-202952A)
【公開日】平成 14 年 7 月 19 日 (2002.7.19)
【出願番号】特願 2001-326848(P2001-326848)
【国際特許分類第 7 版】

G 0 6 F 15/00

G 0 6 F 9/46

【F I】

G 0 6 F 15/00 3 2 0 A

G 0 6 F 9/46 3 6 0 B

【手続補正書】

【提出日】平成 16 年 10 月 20 日 (2004.10.20)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

複数のノードクラスタを備えたシステムであって、
各ノードクラスタは複数のノードを含み、
各々の個別ノードは、個別ノードが他のどのノードからデータを受信できるか、および
個別ノードが他のどのノードにデータを送信できるか、について制約条件を設けているコ
ントローラを含むことを特徴とするシステム。

【請求項 2】

請求項 1 に記載のシステムにおいて、各々の個別ノードは、どのような制約条件である
かを判別する複数のフィルタを、さらに含むことを特徴とするシステム。

【請求項 3】

請求項 1 に記載のシステムにおいて、制約条件は、個別ノードと同じノードクラスタに
属していない別のノードとの間で、個別ノードがデータを送受信することを禁止するこ
とを特徴とするシステム。

【請求項 4】

請求項 1 に記載のシステムにおいて、複数のノードの各々について、
複数の管理デバイスがノードに対する管理責任を分担し、
複数の管理デバイスの 1 つは、ノードに対する拡張された権利セットが与えられ、残り
の管理デバイスは、ノードに対する、より制限された権利セットが与えられていること
を特徴とするシステム。

【請求項 5】

請求項 1 に記載のシステムにおいて、各ノード内のコントローラは、さらに、外部の管
理デバイスからの要求に应答して、ノード上のアプリケーションの実行を終了し開始す
るようになっていることを特徴とするシステム。

【請求項 6】

請求項 1 に記載のシステムにおいて、複数のノードクラスタは、共同ロケーション施設
に含まれていることを特徴とするシステム。

【請求項 7】

共同ロケーション施設内の場所に置かれている第 1 の管理コンソールからの第 1 の要求

を、共同ロケーション施設に置かれたノードで受信するステップと、

第 1 の要求を実行するステップと、

共同ロケーション施設から離れたロケーションに置かれている第 2 の管理コンソールからの第 2 の要求を、ノードで受信するステップと、

第 2 の要求を実行するステップと

を備えたことを特徴とする方法。

【請求項 8】

請求項 7 に記載の方法において、第 1 の要求は、ハードウェアオペレーションを中心とするコマンドを備えたことを特徴とする方法。

【請求項 9】

請求項 7 に記載の方法において、第 2 の要求は、ソフトウェアアプリケーション制御を中心とするコマンドを備えたことを特徴とする方法。

【請求項 10】

請求項 7 に記載の方法において、第 1 の要求は、第 1 の制御コンソールに許与される第 1 の権利セットの中の 1 つに対応しており、第 2 の要求は、第 2 の制御コンソールに許与される第 2 の権利セットの中の 1 つに対応しており、第 1 の権利セットは、第 2 の権利セットよりも制限されていることを特徴とする方法。

【請求項 11】

システムの管理を担当する複数の管理エージェントに対応する管理デバイスが、システムにアクセスすることを許可するインタフェースと、

複数の管理エージェントの各々を複数の所有権ドメインの別々の 1 つに割り当て、システム内の各所有権ドメインの権利を制限することによって、複数の管理エージェント間のやりとりを仲介するトラステッドサードパーティの働きをするコントローラと

を備えたことを特徴とするシステム。

【請求項 12】

請求項 11 に記載のシステムにおいて、複数の所有権ドメインの 1 つは、第 1 の権利セットを有するトップレベル所有権ドメインであり、複数の所有権ドメイン内の他の所有権ドメインの各々は、第 2 の権利セットを有することを含むことを特徴とするシステム。

【請求項 13】

請求項 12 に記載のシステムにおいて、第 2 の権利セットは、既存の所有権ドメインを取り消す権利と、システム内のフィルタに変更を加える権利と、所有権ドメインに対する認証信用証明を変更する権利と、システムでのマシンイベントとパケットフィルタイイベントに加入する権利とを含むことを特徴とするシステム。

【請求項 14】

請求項 12 に記載のシステムにおいて、第 1 の権利セットは、新しい所有権ドメインを作成する権利と、システムメモリにアクセスする権利と、システムの大容量ストレージデバイスにアクセスする権利と、およびシステム内のフィルタに変更を加える権利とを含むことを特徴とするシステム。

【請求項 15】

請求項 12 に記載のシステムにおいて、コントローラは、他の所有権ドメインのいずれか 1 つに対応するデバイスが、トップレベル所有権ドメインを取り消すことを許可し、コントローラは取り消しプロセス期間にシステムメモリを消去することを特徴とするシステム。

【請求項 16】

請求項 11 に記載のシステムにおいて、該システムは、共同ロケーション施設に置かれたノードを備えたことを特徴とするシステム。

【請求項 17】

複数の管理エージェントの各々を複数の所有権ドメインの 1 つと関連付けるステップであって、複数の管理エージェントの各々は、コンピュータの少なくとも一部を管理することを担当し、コンピュータの外に置かれているステップと、

複数の管理エージェントの１つだけが、一時にコンピュータへの拡張された権利セットを有することを許可され、残りの管理デバイスに、より制限された権利セットを割り当てるステップと、

複数の管理エージェントに対応する管理デバイスからのどの要求が、少なくとも一部分、管理エージェントの権利に基づいて実行されるかを、制限するステップとを備えたことを特徴とする方法。

【請求項 18】

請求項 17 に記載の方法において、１つの管理エージェントはトップレベル所有権ドメインに対応しており、他の管理エージェントはどれも、前記 1 つの管理エージェントの権利を取り消すことができることを特徴とする方法。

【請求項 19】

請求項 17 に記載の方法において、

複数の管理エージェントのどれが拡張された権利セットを有するかを、時間の経過と共に変更することを許可するステップと、

複数の管理エージェントのどれが拡張された権利を有するかが変更される度に、システムメモリを消去するステップと

をさらに備えたことを特徴とする方法。

【請求項 20】

請求項 17 に記載の方法において、コンピュータは、共同ロケーション施設に置かれたノードを備えたことを特徴とする方法。